



インタビュー

Vol.18 浦ゲートボールクラブ
の皆さん

勝敗にこだわらず、人とのふれあいを大切に

— ゲートボールってどんな競技？

5人1組の2チーム対抗で行われる日本発祥のスポーツで、子どもの遊びとして誕生した助け合いの競技です。スティックでボールを打って3個のゲートを順に通過させ、最後に中央にあるゴールボールに当たると「上がり」です。ゲートを順番に通すごとに1点入り、最後にゴールボールに当たると2点入ります。30分間の競技終了時に多くの点が入った方が勝ちとなります。

— クラブの活動状況は？

61歳から最高齢の90歳までの49名の会員が、雨の日を除く毎日、午後1時から2時30分まで練習に励んでいます。チームを組んで参加する大会では、勝敗よりも人との交流を大切にしています。

— どんなところが楽しいですか？

みんなで和気あいあいとできることです。お互いに助け合いながら、チームとしてまとまって競い合うという、みんなでつくる人の和も魅力のひとつです。



— 小学生と交流があるそうですね。

4・5・6年生が、クラブ活動でゲートボールをしている浦小学校に月1〜2回出向き、指導しています。我々と休日に一緒に練習し、一緒に大会に参加する児童もいます。

— 地域への広がりには？

我々が元気であることは、この地域が元気であることの証です。このクラブの活動は、使命ではなく日課。散歩と同じように無理をしないので、毎日続けられます。我々の姿が、子どもからお年寄りまで、地域全体に元気を与え、活力の源になっていると思います。

— 今後、目指すところは？

競技を通じて人とふれあい、競技をすることで生まれる楽しさや喜びをみんなに分かち合うことができます。そんなゲートボールの魅力を広く伝え、世代交代も進めながら、このクラブの活動をずっと続けていきたいと思っています。



(聞き手：中神靖典)

発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☑ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・バック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447